## 「宇都宮市安全で安心なまちづくり推進計画」(現計画)の実績評価

【成果指標】	策定時(平成16年)	目標(平成21年)	平成20年	特記事項等				
〇 犯罪被害の不安感を抱く市民の割合(単位:%)	89.5	50以下		市民の防犯意識の高揚や、地域の自主的な防犯活動の促進に重点的に取り組んだ結果、刑 一法犯認知件数は目標を達成することができた。一方で、犯罪被害の不安感を抱く市民の割合に				
〇 人口千人当たりの刑法犯認知件数(単位:件)	26.4	20未満		「伝犯認知件数は目標を達成することができた。」方で、犯罪被害の不安懲を抱く印氏の割占に ついては、基準年度からの改善が図られたものの、目標を達成することができなかった。				

## 【施策一覧】

<u>лыж</u>	一覧』									
+/-	施策 位置づけ				目	標	実 績			
分			重点 施策	施策名	施策の概要	目標値の 説明	目標 (H21年度)	実績 (H20年度)	評価	特記事項等
į	ら	_	_	地域の安全安心診断	地域を防犯上の視点から調査し, 危険箇所等について周辺住民への周知又は改善を図る。	実施済 地区数	39	39	©	【現状・実績】 ・地域主体による『環境点検活動』として,市内39地区で実施 ⇒市は,地域への実施要領の提示,改善要望等への対応等を実施
個別			•	地域安全マップの作成支 援	安全安心診断の実施に合わせ,地域安全マップの 作成を支援する。	作成済 地区数	39	39	0	【課題等】 地域の危険箇所等の速やかな改善と情報の共有化
	連帯高揚	における 意識の と自主的 の推進		防犯活動への支援等	地域で防犯活動を担うリーダーを育成する講習会 や,防犯活動指導員の配置等を実施する。			実施		【現状・実績】 ・事業開始以降,212人(H20年度末)のリーダーを養成 ・警察OBの防犯活動指導員3名を配置 【課題等】 ・地域の防犯活動のさらなる定着化に向けたリーダーの確保のための周 知方法や講義内容の充実化
				事業者への協力要請	事業者に対し、地域の一員としての防犯活動を促進するための協力を要請する。			一部実施		【現状・実績】 ・事業者等に対する「ながらパトロール」を促進(23団体, 207台) 【課題等】 ・事業者と警察の防犯活動に関する協定など, 事業者の協力が一定得られてきたことを踏まえた施策の見直し
			•	防犯講習会の開催	個人の防犯活動に必要な知識や技術の普及のため,防犯対策等に関する講習会を開催する。	年間 受講者数	3,400	4,522	©	【現状・実績】 ・事業を開始した18年度以降,毎年度目標値を達成(H18:3,767人 H19:3,810人) ・主な受講者は,高齢者及び小学生 【課題等】 ・被害者構成比の割合の高い世代(13~49歳)を対象とした講習会の実施に向けた周知方法の検討
	1	·教育の	•	犯罪発生情報等の提供	犯罪発生状況や不審者情報等を提供する。	携帯メール 登録者数	4,000	6,113 (最大時)	©	【現状・実績】 ・警察から提供のあった不審者情報を配信 ・不審者情報は、定期的な周知活動を実施 ⇒登録者数:5,948(H21年6月25日現在) 【課題等】 ・より多くの登録者数の確保に向けた周知方法の検討
				防犯広報•啓発活動	効果的な防犯対策などの情報を提供する。			実施		【現状・実績】 ・広報紙への情報掲載を年3回以上実施 ・ホームページは10ページ以上掲載 ・各種イベント(フェスタmyうつのみや等)で広報・啓発活動実施 【課題等】 ・犯罪のさらなる減少に向け、窃盗犯対策を中心とした防犯対策の実践 に繋がるような広報・啓発内容の検討
				事業者への啓発	事業者に対し、従業員への防犯知識の普及や意識 の高揚を図るための啓発を行う。			一部実施		【現状・実績】 ・防犯講習会を一部の事業者を対象に実施 【課題等】 ・事業者(従業員を含む)を対象とした啓発手法と内容の検討
	防犯	パトロー		地域における防犯パトロールの強化	実施主体の開発、「ながらパトロール」の実施、認定パトロール員制度等により、パトロールを強化する。	認定パトロール員数	37	見直し	_	【現状・実績】 ・地域防犯ネットワークの構築に伴い,事業を見直し ⇒地域で様々な形態による防犯活動が行われている現状を考慮し,市 独自で「認定パトロール員」や「ながらパトロールの普及」を行わず,地域
		ルの強化				ながらパトロール 協力者数	2,700	見直し	_	の防犯活動はネットワークを中心に事業を展開していくこととした。 【課題等】 ・防犯ネットワークの活用による地域の防犯活動のさらなる促進方策(事業)の検討

施策 位置づけ					目	実 績			
他束 分類	重点課題	重点 施策	施策名	施策の概要	目標値の 説明	目標	実績	評価	特記事項等
	防犯パトロー ルの強化			青色回転灯やステッカーを装着した公用車による防 犯パトロールを実施する。	武功	(H21年度)	(H20年度) 実施		【現状・実績】 ・青色回転灯装着車両:30台,ステッカー貼付車両:128台を確保 ・生活安心課,教育委員会では,定期的な青色防犯パトロールを実施 ⇒青色防犯パトロールは,市民への啓発も兼ねて実施 【課題等】 ・市職員による防犯パトロールの方向性の整理と合わせた体制(台数等) の拡充等
	迷惑行為の 防止と犯罪に 強い都市空 間の整備	•		防犯灯の効果的・効率的な設置のため, 基準や管理 方法の見直しを行う。	まちの明るさを 不十分と感じる 割合(%)	50以下 【基準年:70.4】	66.8	Δ	【現状・実績】 ・基準や管理方法については、現行の自治会主体による設置及び維持管理を当面継続 ・夜間の明るさの確保のため、高照度防犯灯加算制度を新設(H20) 【課題等】 ・高照度防犯灯の導入効果を見極め⇒中学校通学路に限定している現在の対象範囲の拡大等
		•		繁華街や駅周辺などにおいて, 防犯カメラの設置促進や落書き消去等の安全対策を推進する。	防犯カメラ 設置箇所数	6 【基準年:3】	6	©	【現状・実績】 ・ユニオン通り:1(H18:商工振興課補助金活用) ・JR宇都宮駅周辺:2(H19~20:生活安心課直接事業) ※策定時の3箇所⇒オリオン通り:2, 馬車道通り:1 【課題等】 ・当面は, JR宇都宮駅周辺の設置効果を検証 ※市が犯罪の未然防止を目的として街頭に直接設置するには, 市民のプライバシーの権利との調整から相当程度の理由が必要とされた。
個別				死角をつくらないよう,樹木の配置や剪定,照明灯の 適正な設置に努める。			一部実施		【現状・実績】 ・道路及び公園の整備・管理を防犯面に一定配慮して実施 【課題等】 ・防犯上配慮すべき事項等の検討
				公共施設の防犯機器や照明灯等の点検を行い、必要な整備を行う。			一部実施		【現状・実績】 ・各施設所管課において照明の点検等, 防犯面に一定の配慮を実施 【課題等】 ・防犯上配慮すべき事項等の検討
				事業者に対し,防犯に配慮した施設の整備を促進するため,必要な要請を行う。			一部実施		【現状・実績】 ・大規模開発に伴う意見照会において, 内容を点検し, 必要に応じて要請を実施 【課題等】 ・既存施設等に対する要請方策の検討
	学校等における安全対策の 推進	•		幼児・児童・生徒に対し,体験参加型による防犯教 室を実施する。	体験参加型 教室開催数	全小中学校 年1回	一部達成	0	【現状・実績】 ・「体験参加型」ではないものの,全校で,何らかの防犯に関する事業(訓練・教室等)を毎年実施 【課題等】 ・学校で実施する防犯学習の内容の検証
				スクールガードリーダーの配置, 子ども110番の家の 充実に向けた支援などを実施する。			実施		【現状・実績】 ・スクールガードリーダー25名を配置 ・PTAにおいて,『子ども110番の家』事業を実施 【課題等】 ・学校と地域の防犯活動の連携の確保(防犯ネットワークの活用)
推進体	_	_	地域のネットワークの整備	地域の防犯活動が効果的・継続的なものとなるよう, 地域内の防犯活動団体のネットワークを整備する。			38		【現状・実績】 ・平成21年度末までには,市内全地区(39地区)で構築見込み 【課題等】 ・防犯ネットワークを活用した事業の検討(情報共有化,連携強化,ネットワークの拡大など)
体制		_	11-21-51-745-745-745-741-77-1-88-74-6	安全で安心して暮らせるまちづくりに関する施策を行う関係課が連携する体制を整備する。			一部実施		【現状・実績】 ・各地域自治センター、各地区市民センター、みんなでまちづくり課、教育委員会との一定の連携が図られているものの、「体制」は未構築 【課題等】 ・庁内推進体制の必要性も含めた設置の検討